

【能登地震から考えたこと……】

自分たちに何ができるか！

昨日新聞記事を読んで、早速感想を寄せてくれた仲間がいます。紹介したいと思います。

◆私たちが当たり前と思っていた毎日はいっ壊れるかわからないガラスのようなものと実感した。学校全体で募金活動をしたい。

◆新年早々多くの犠牲者を出すことになり、めでたいこの日が悲劇に見舞われたことが信じられない。少しでも早く復興してほしい。

◆このニュースを見て、いろいろと自分にもできることがあるということが分かったので、これからの生活で自分にできることを考えたり、苦しい生活のナカで頑張っている人がいることを考え、日々生活していきたい。

◆この地震がきっかけで、大切な人を救いたくても救えなかった人がいるという事実に悲しくなりました。被災した方々がいつか報われることをお祈りします。

◆被災地の方々は辛い思いをしているのに自分は何もできなく、できることはないかと改めて感じた。流山市のLANなどで寄付のことは知っていたので、募金したいと改めて思った。

◆記事を見て、自然災害の恐ろしさや怖さを

感じました。いつ災害が起こるか分からないので、家族と避難場所を確認したり、しっかりと対策をしようと思えました。自分たちができることを積極的に見つけ行っていきたい。いっぱい行方不明の人がいて、避難所についてあまりご飯が食べられないなど大変だと思っています。募金をしたいです。

◆市立船橋高校みたいに、自分たちができることを全力でやるのが良いと思いました。

◆まず、地震の恐ろしさを改めて実感した。自分にできる支援を早くしたい。

◆まさか元旦に大きな地震が起きるなんて思ってもいなかった。私たちに何ができるのか、姉妹都市である流山市に住む私にとって責任を感じます。募金など簡単なことから、一人でも多くの命を救いたいです。

◆私にはできることはないと思っていましたが、先生からの話を受けて生活が恵まれていることに感謝を思うこと、かみしめることが今私ができる最大限のことだと思えます。募金はもちろん、私のできそうなことをもって探していきたい。

◆やっぱりこの地震を元に備えたり、日々を大切に生きたり、募金したりなど、その場に直接行かなくてもできるようなことをしたい。

◆地震や津波、火災の恐ろしさを実感した。箱根駅伝で城西大の選手が石川県出身で思いを込めて走る姿を見て、とても感動した。震災はとても怖いけど、しっかりと対応できるよ

う家族で話し合っていきたいと思った。

◆中学生の私が復興を支援するには、募金ぐらいのことしかできないかもしれない。しかしまずは被災地を知ることが大切だと思う。様々なニュースに目を通したいと思う。中には目をそむけたくなるような事実もあると思いますが、現状を知ることから始めていきたいです。

◆流山市と能登町が姉妹都市だと知って驚いた。友好の歴史や東日本大震災の時助けてもらっていたことも知ることができた。自分ができる範囲の手助けができれば良いと思った。◆本当にいつ起こるか分からない災害なので、自分の身を守るためにも避難のこととかもう一度見直したいです。また、少しでも募金に協力したいです。

◆今回の地震を受けて自分たちにできること。まずは募金。同じような被害をこれから出さないように被害のことについて真剣に考える。◆日頃から危機感を持っていたい。もう一度避難について確認したい。被災者の方たちへ募金活動に参加したり、同じことが起こったときに対処できるようにすることが、今の私たちにできることだと思えます。

まだまだたくさんコメントがありました。私たちにできることを一つずつ実行していきたい。生徒会を中心に、みんなの力を結集して、被災地の方々へ心を届けましょう。